

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			簡易点検
事務事業名	外国公館等誘致連携事業			シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	文化観光	局	国際	部	国際
				課	評価責任者(課長名)
					永野

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	5	国際交流・国際協力の推進と多文化共生のまちづくり	無
	2	事業開始年度	平成 25 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画	「堺市国際化推進プラン(改訂版)」(平成25年3月発行)及び追補版(平成30年3月発行)			
5	事業実施の経緯	外国公館等の誘致については、これまでの取り組みにより、ベトナム社会主義共和国総領事館、シンガポール共和国名誉総領事館、ユネスコ「アジア太平洋無形文化遺産研究センター」を市内に誘致した。平成24年度策定の「堺市国際化推進プラン(改訂版)」において、外国公館の誘致を施策の3本柱の一つとして位置づけ、各種事業を実施し、国際機関の本市誘導を図り、国際的なまちづくりをより一層進める。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	外国公館・国際機関(総領事館、名誉領事館、政府関係機関)をはじめとした諸外国の関係組織や機関			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	外国公館や国際機関等の市内誘致につなげるため、堺の魅力を発信し、経済、観光、環境等さまざまな分野での交流を進め、関係を深め連携を強化する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在日外国公館等を堺まつりに招待し、本市魅力のアピール</li> <li>・地域の魅力発信セミナー等による在京大使館・在関西総領事館等への本市プロモーション</li> <li>・在関西総領事館等と共催事業を実施することによる関係深化と連携強化</li> </ul>			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	10	直接実施以外の主な支出先	なし			

Ⅲ. 投入量

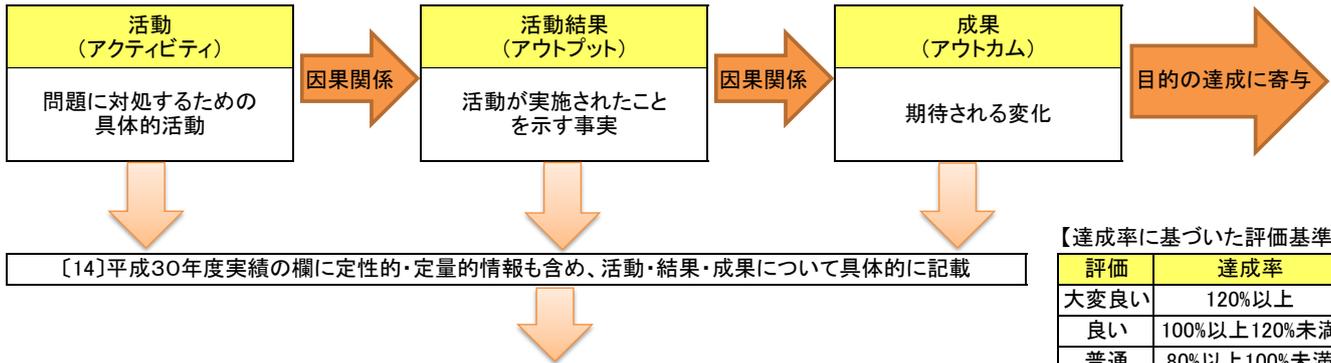
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11	事業費 (a)	千円	1,099	840	1,648	5,559
	主な事業費内訳	在日外国公館等との連携強化	千円	878	630	664	870
		在京大使館とのネットワーク作り	千円	141	203	120	130
		ヨーロッパとの交流事業	千円			67	3,139
		海外訪問	千円			780	1,420
		国・府支出金	千円				
	財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他(国際文化観光基金(国際課))	千円				2,700
		一般財源	千円	1,099	840	1,648	2,859
	12	人件費 (b)	千円	8,200	8,200	8,200	8,100
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	9,299	9,040	9,848	13,659	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	外国公館等誘致連携事業	シート番号	08-19
-------	-------------	-------	-------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)

#### ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

#### 【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

#### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績							
活動実績と成果	14	<p>在日外国公館からの要人来堺の際に、本市の魅力発信及びネットワーク構築に取り組むなかで、駐日大使館等に対して市内視察を実施することができたほか、在関西外国公館を賓客として迎え堺まつりのパレード観覧及び堺の伝統文化・産業等を紹介しながら、交流の場を設けた。</p> <p>また、外国公館等との連携事業においては、近年継続して事業を実施しているイタリア文化会館-大阪との共催で、本庁高層館21階展望ロビーでピアノコンサート及び芸術作品展示を行い、市民に身近な場所でイタリアの文化芸術に触れる機会を提供できた。</p>					
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	在日外国公館に対する本市PR事業の実施	件	目標値	4	4	4	4
			実績値	2	1	2	2
			達成率	50%	25%	50%	50%
			評価	悪い	悪い	悪い	悪い
	算出方法・設定根拠など		在日外国公館に対する本市のPRができる事業数を計上している。				
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	外国公館等との連携事業数	件	目標値	2	2	2	1
			実績値	2	1	1	1
			達成率	100%	50%	50%	50%
			評価	良い	悪い	悪い	悪い
	算出方法・設定根拠など		外国公館と共催等で実施した連携事業数について計上している。				

#### 業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>在日外国公館に対する本市PR事業の実施並びに外国公館等との連携事業数について、目標達成には至らなかったが、近年関係を結んでいるイタリア文化会館-大阪とは継続して事業を実施できている。</p> <p>両事業ともに、先方の希望によるところが大きいですが、PR事業については市内視察の提案をしており、また連携事業についても積極的にアプローチをしている。</p>

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。